

憲法記念日に思う
自分事として

内山佳子（会員・東京 YWCA 元運営委員長）

ロシアのウクライナ侵攻から今年で 5 年目。決して止むことなく激化するイスラエルのガザへの攻撃、そして今年 2 月末から始まったアメリカとイスラエルによるイランへの先制軍事攻撃。報復の連鎖はやみません。一般市民の犠牲者も増えるばかりです。特に幼い子どもたちの犠牲者も多く、いたたまれない思いになります。鍋を持って「食料を！」と押しあっていた戦禍のガザの子どもたちの映像を見るたびに「今はどうしているのかしら？」「食べる物があったかしら？」と心が痛みます。「今日も楽しい一日だった！」と安心して眠れる日が一日も早く来ますようにと祈るばかりです。

そんな不穏な世界情勢の中、5 月 3 日、憲法記念日を迎えます。YWCA は現憲法の理念を「日本の宝」として尊重してきました。先輩たちも憲法の学びを続け、劇の上映や「憲法研究会」、他団体との共同の勉強会などなど様々な活動を展開し、多くの会員と職員が一体となって憲法調査会や国会包囲行動に参加し、抗議をしたなどの歴史があります。共に学び、共に行動する。その思いは現在も継続されています。2012 年から始まった「憲法カフェ」は多くの憲法学者などのご協力を得て、平和憲法や沖縄などについて学ぶぜいたくな時間でした。安倍政治による「戦争ができる国」への憲法改悪反対の国会前抗議行動に何度も参加しました。特に「赤い物」を身に着けての女の平和アピールと、ピンチを感じた国会前大通りでのデモ。後者では参加者に押され続けて、ついに一番前へ。目の前は柵と警官。なだれ込んでは大変なことになると右足を縁石に置いて踏ん張って、踏ん張って何とか難を逃れたこと。忘れられません。しかし仲間との抗議活動は勇気を与えられた機会でもありました。

YWCA の仲間と何度も傍聴に通った「憲法審査会」。特に 2015 年 6 月の衆議院憲法審査会、その時のどよめき！各党推薦人として長谷部恭男氏、小林節氏、笹田栄司氏の 3 人の憲法学者。何と全員が安保法案を「憲法違反」としたのです。議員数の割合で組織されるため、今回の衆議院議員選挙で大勝の高市政権。政権与党でほぼ埋め尽くされた 4 月 9 日

の議場。「国民が見ていますよ」のメッセージを伝えることは大事なことでないでしょうか？ 傍聴ご希望の方、大歓迎です。

憲法記念日に合わせ、平和といのちと人権を！ 5.3 憲法大集会実行委員会の主催で、「つながろう 憲法いかして平和な世界を！ 2026 憲法大集会」が今年も有明防災公園にて実施されます。東京 YWCA は、平和と正義委員会のメンバーを中心に参加し続けてきました。今年も YWCA のブルーののぼり旗を持って参加します。楽しい子ども憲法ひろばもあります。

今までの憲法集会の中で今も心に残るスピーチがあります。2015 年のゲストスピーカー、むのたけじさん、100 歳からの魂のメッセージです。マイクは不要なくらいお元気な声で、太平洋戦争従軍記者としての経験の反省から次世代への遺言として「戦争をしてはいけません！」と平和を訴えたのです。

今年 2 月の衆議院議員選挙で過半数を大幅に超えた高市政権が、日本だけでなく世界の平和のためにどれだけ汗を流すか。憲法は為政者を縛るもの。憲法、特に 9 条を大事にして世界の平和に貢献してほしいと祈るばかりです。武力で平和はつくれないことも日々のニュースが実証しています。

子や孫に禍根を残さないために、「おかしいことはおかしい」と勇気をもって声を上げ続けたいです。そんな仲間がたくさんおられると信じています。日本 YWCA 主催の「ひろしまを考える旅」でお聞きした広島での被爆証言者のお一人、坪井直さん。核兵器廃絶を日本ばかりか世界に訴え続けた坪井直さんの講演最後の力強い締め言葉、“NEVER GIVE UP！”がいつも私たちを後押ししています。